

I 平成28年度事業報告

1 学術研究に対する助成

- (1) 食に関する基礎的な科学研究を行う研究者及び研究グループに対し、研究助成金を支給し、国民食生活の向上と外食産業の発展に寄与することを目的として研究助成対象課題を募集しました。
- (2) 平成28年度の学術研究助成応募申請書は平成28年6月10日をもって受付を締切ました。その結果は、下記のとおり120件の応募があり、また学術助成金の申請総額は22,978万円に達しました。
- (3) 受理した120件の応募申請書について、専門委員による選考委員会に付託し、平成28年8月5日の審査会の選考の結果、13件（助成総額2,140万円）が選定されました。それを踏まえて、8月9日に理事長が最終決定し、該当助成対象機関の長あてに助成対象課題の決定通知を行いました。
- また、助成金（目録）について、9月8日、アルカディア市ヶ谷において、贈呈式を行いました。助成対象者、研究課題及び助成金は別紙に掲げるとおりです。

平成28年度学術研究助成金応募件数一覧

研究機関名	応募件数 (件)	助成申請額 (万円)
国公立大学・院	66	12,849
私立 大学	41	7,674
短期 大学	3	529
研究 機関 等	10	1,928
合 計	120	22,978

2 助成学術研究成果の発表

(1) 平成28年度助成学術研究成果発表会の開催

平成27年度の助成学術研究の成果については、「第28回学術助成金による研究成果発表会」を平成28年11月25日に開催し、研究代表者から発表いたしました。

(2) 研究成果の配布

上記の研究成果については、「食に関する助成研究調査報告書29号」として刊行し、国立国会図書館をはじめ、大学図書館、研究機関、企業、団体等に幅広く配布し、普及に努めました。

(事業報告:別紙)

平成28年度 主要業務日誌

年月日	主要業務項目	備 考
平成28年		
4月1日	平成28年度学術研究助成募集の開始	ホームページ
5月11日	平成27年度事業報告、収支決算等についての 監事監査	
5月20日	平成28年度第1回理事会開催	平成27年度事業報告・決算報告の承認、役員 の改選、評議員会の招集、代表理事・業務執行理事の職務執行状況の報告
6月10日	平成28年度学術研究助成の応募締切	申請数 120件
6月10日	平成28年度定時評議員会の開催	平成27年度事業報告・決算報告の承認、役員 の選任
6月21日	平成27年度事業報告、収支決算等について 内閣府へ提出	公益認定等委員会
7月21日	役員の変更届	理事2名 監事1名辞任 3名新任
8月5日	平成28年度学術助成対象者審査会開催	専門審査委員(KKRホテル東京)申請 件数120件から13件を選考し、8月9 日に決定通知
9月8日	平成28年度学術助成金の贈呈式	目録のみ(アルカディア市ヶ谷)
10月15日	食に関する研究報告書No. 29刊行、配布	平成27年度研究成果報告書
11月25日	第28回学術助成金による研究成果発表会	平成27年度助成対象課題12 件 (アルカディア市ヶ谷)
平成29年		
3月10日	平成28年度第2回理事会の開催	平成29年度事業計画、収支予算の承認、 評議員会開催の承諾、代表理事・業務執行理事の職務執行状況の報告書等
3月10日	平成28年度臨時評議員会の開催	平成29年度事業計画、収支予算の承認、 監事の選任、事業報告
3月21日	平成29年度事業計画書、収支予算書を 内閣府へ提出	

Ⅱ 平成28年度事業報告の附属明細書

1 平成28年度学術研究助成募集要領

1 学術助成の趣旨

この助成は、食に関する科学研究を行う研究者及び研究グループに対し、研究助成金を支給し、国民の食生活の向上と外食産業の発展に寄与することを目的とします。

2 学術研究助成の対象

次の3に指定する分野の食に関する研究を行う研究者及び研究グループを対象とします。(但し、食文化は対象外)

3 研究分野

- (1) 食の嗜好に関する研究
- (2) 食事構成に関する研究
- (3) 食に関する基礎的な科学研究
- (4) 食品の放射能汚染とその健康への影響に関する研究

4 学術研究助成要件

- (1) 原則として申請研究課題に関する研究実績が1年以上あること
(但し、上記3の(4)は除く)
- (2) 原則として所属研究機関長の推薦が得られること
- (3) 研究機関の推薦件数は、2件までとすること
(但し、助成は1研究機関1件を原則とする)

1 0 決定通知

採否の結果については、平成28年8月上旬に通知します。

1 1 助成金の交付予定

平成28年9月末日までに交付する予定です。

1 2 報告等

研究に要した助成金の使余については、その収支報告書を平成29年4月15日までに報告していただきます。

また、研究の成果については、その報告書を平成29年7月末日までに提出いただくとともに、同年11月頃に研究成果発表会を開催致します。

なお、研究報告書は、全国の大学図書館、関係研究機関等に配布します。

5 学術研究助成の金額、件数

学術研究助成金額は、総額2,100万円とし、1件150～200万円程度として、12～13件の研究課題に助成を行います。

6 助成期間

助成機関は、原則として1ケ年とします。但し、内容によって継続して助成します。

7 申請書の記入及び送付

当財団ホームページ (<http://www.skylark-fs.or.jp>) 掲載してある 所定の申請書類の様式 (B4サイズ限定) に必要事項を入力し、プリントアウトして、申請者本人及び所属機関長の印を押印し、下記の当財団あてに郵送して下さい。

公益財団法人すかいらーくフードサイエンス研究所

〒150-0001

東京都渋谷区神宮前 2-4-11

Daiwa 神宮前ビル1階

☎03-5770-2255

8 申請書の申請締切日

申請締切日は、平成28年6月10日（当日消印有効）とします。

9 選考方法

事前審査後、当財団の専門委員会の審議を経て理事長が決定します。

平成28年度 専門委員名簿

いま い えつ こ
今 井 悦 子

聖徳大学 人間栄養科 教授

こめ たに しゅん
米 谷 俊

近畿大学 農学部 食品栄養学科 教授

にい もと ひろ し
新 本 洋 士

玉川大学 農学部 生命化学科 教授

たか はし とも こ
高 橋 智 子

神奈川工科大学 応用バイオ科学部 教授

た なか しげ ほ
田 中 茂 穂

国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所

国立健康・栄養研究所 栄養代謝研究部 部長

わ ち まさ あき
和 地 正 明

東京工業大学 大学院 生命理工学研究科 教授

平成28年度学術研究助成対象課題一覧

No.	研究課題	所属機関名	申請者氏名	助成金額	備考
1	低線量放射線を模した染色体切断系を用いた腸内細菌群の遺伝および細菌集団の動的平衡解析	東海大学 生物学部 生物学科 准教授	カイドウ アキヒロ 海藤 晃弘	1,750 千円	共同
2	抗酸化能を有するアミノ酸高含有作物の創製	筑波大学 国際産学連携本部 准教授	オオツ イワオ 大津 巖生	1,750 千円	個人
3	魚の美味しさ特性の見える化による魚食普及促進に関する研究	東海大学 海洋学部 水産学科食品科学 教授	ゴトウ ケイイチ 後藤 慶一	1,750 千円	個人
4	ビックデータ解析による日本の「食」に係る資源端依存構造の可視化	立命館大学 理工学部 機械工学科 准教授	ヤマスエ エイジ 山末 英嗣	1,750 千円	共同
5	白色脂肪組織中において「誘導型」褐色脂肪細胞への分化転換を促進する食品由来因子に関する研究	中部大学 応用生物学部 教授	ツダ タカノリ 津田 孝範	1,750 千円	個人
6	食餌中の ω -3脂肪酸がケルセチンの生活習慣病予防及び認知機能改善効果に及ぼす影響の総合的解析	農業・食品産業技術総合研究機構 食品研究部門 ユニット長	コボリ マスコ 小堀 真珠子	1,750 千円	個人
7	近赤外分光法による調理食品の熱量及び主要栄養素の評価	医薬基盤・健康・栄養研究所 栄養教育研究部 栄養ケア・マネジメント研究室 室長	タカタ カズコ 高田 和子	1,700 千円	共同
8	大豆イソフラボン摂取によるインクレチン分泌改善作用を用いた、肥満を伴うアルツハイマー型認知症進展予防の検討	大分大学 医学部 内分泌代謝・膠原病・肝臓内科学 講師	ゴトウ コウロウ 後藤 孔郎	1,000 千円	個人
9	擬似咀嚼音を用いた介護食の食感改善:音と食品との一致度が効果に及ぼす影響の検討	産業技術総合研究所 人間情報研究部門 主任研究員	エンドウ ヒロシ 遠藤 博史	1,500 千円	共同
10	炭水化物制限食に伴う心血管イベント増加メカニズムの解明 ～心臓に優しい食事の開発を目指して～	東京大学 大学院 医学系研究科 教授	コムロ イッセイ 小室 一成	1,700 千円	共同
11	腸内環境の改善に着目した栄養教育によるメンタヘルス及び肥満の改善効果の検証	福島県立医科大学 医学部疫学講座 助教	ウエムラ マユ 上村 真由	1,750 千円	共同
12	女性のライフステージ別にみた口腔細菌叢の変化と生活の関連を探る疫学的研究	大阪府立大学 総合リハビリテーション学研究科 教授	カミタニ シゲキ 神谷 重樹	1,750 千円	共同
13	食物摂取によるIgE非依存性アナフィラキシーの病態解明	順天堂大学 大学院 医学研究科アトピー疾患研究センター 先任准教授	キタウラ ジロウ 北浦 次郎	1,500 千円	個人

公益財団法人すかいらーくフードサイエンス研究所
第28回学術研究助成金による研究成果発表会次第

開催日 平成28年11月25日
場所 KKRホテル東京

開会 10:00～
あいさつ

研究発表一覧表

No.	研究課題	所属機関名	申請者氏名	助成金額	備考
1	アレルギー予防食品の開発を目指した食物由来抑制性エピトープの探索	公益財団法人 東京都医学総合研究所 花粉症プロジェクト 主任研究員	カミスマ オサム 神沼 修	1,760 千円	個人
2	高分子ポリフェノールが食餌性肥満モデルマウスのメタボロームおよび腸内細菌叢に及ぼす影響	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 果樹研究所 任期付研究員	マスモト サエコ 升本早枝子	1,760 千円	個人
3	幼若期におけるニューロンの脂質センシング機構と抗肥満機構の解明	福島県立医科大学 医学部腫瘍生体エレクトロニクス講座 特任講師	マエジマ ユウコ 前島裕子	1,670 千円	共同
4	遺伝子破壊法を用いたヒト・ピフィズ菌の腸内共生メカニズムの統合的理解	岐阜大学 応用生物科学部 教授	スズキ トオル 鈴木 徹	1,760 千円	共同
5	口腔粘膜や食品を安全に消毒、清掃出来る、電解機能水(中性電解水)の可能性について	京都大学 再生医学科学研究所 機器再建応用分野 非常勤講師	シゲノ ケイジ 茂野啓示	1,760 千円	共同

昼食・休憩 11:55～13:10

6	長野県産野生鹿肉の嗜好特性解明と衛生評価	長野県短期大学 生活科学科 健康栄養専攻 講師	コギソ カナ 小木曾加奈	1,730 千円	個人
7	日本人の味覚感度の現状と血圧値、食嗜好、外食習慣との関連についての疫学的研究	大阪大学 大学院 医学系研究科 社会医学講座 公衆衛生学教室 准教授	キタムラ アキヒコ 北村明彦	1,760 千円	共同
8	乳酸菌由来オリゴDNAを有効成分とする機能性ヨーグルトの開発	信州大学 大学院 農学研究科 准教授	シモサト タケシ 下里剛士	1,760 千円	個人
9	様々な活性種の消去速度に基づいた食品の抗酸化能評価法の構築	岡山大学 大学院 自然科学研究科 地球生命物質科学 教授	スエイシ ヨシミ 末石芳巳	1,760 千円	個人
10	ドコサヘキサエン酸の脳内エストロジオール合成促進を介した神経機能改善作用	広島大学 大学院 総合科学研究科 助教	イシハラ ヤスヒロ 石原康宏	1,760 千円	共同

休憩・コーヒーブレイク 14:50～15:05

11	高活性フラボノイドによる廃用性筋萎縮予防に関する研究	徳島大学 医歯薬学研究部 助教	ムカイリエ 向井理恵	1,760 千円	共同
12	味の定量・標準化を目指した生体味蓄イメージングシステム	自治医科大学 分子病態治療研究センター 分子病態研究部 教授	ニシムラ サトシ 西村 智	1,760 千円	共同

全体質疑 15分間程度

閉会